

第Ⅲ章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

子どもがすこやかに成長していくためには、親子の関係を基本とした、良好な人間関係によって、深い愛情や信頼関係を築くことがとても大切です。また、親自身も妊娠、出産、育児を通じて人として成長し人生を豊かにすることができます。母子保健は生涯を通じた健康づくりの出発点であり、次の基本理念をもって推進します。

「 慈しみ愛され子どもが育ち 笑顔と健康があふれるまち 」

2. 基本目標

基本理念の実現に向けて、3つの基本目標を掲げ、母子保健事業の取り組みを推進します。

基本目標1 妊娠期・乳幼児期をすこやかに過ごすことができる

- 取り組み目標 (1) 妊娠出産が安心してできる
(2) 子どもが健康に育つことができる

基本目標2 学齢期・思春期の子どもたちが自ら学び行動することができる

- 取り組み目標 (1) 健康的な生活習慣が確立される
(2) 健やかな心を育む

基本目標3 子育てを支えていく地域をつくる

- 取り組み目標 地域の中で人とのつながりを持ちながら育つ